

# しんりんかんだより

年主題

「つながって」～今、わたしを生きる～

月主題 3F/2F ゆったりと/祈りあう

‘22 第5号 (vol. 65)

2022年8月1日発行



## 「祈り」

おやつ時間の事です。「もう食べきれない」と言ってきたSちゃんに「食べられなかったら先に減らしに来てっていつも言ってるでしょう。」と保育士が言うと、「食べられるかな、今日は減らさないで頑張ってみようと思ったんじゃない。」Hちゃんの言葉にハッとさせられました。本当にそうです。今日は減らさずに頑張ってみようそう思って頑張ったけれど、ダメだったのかもしれないと、なぜ思えなかったのかと心が痛みました。「そうだよね、Hちゃんありがとう～」Sちゃんは、うんと頷き減らした残りの1個を直ぐに食べると、嬉しそうに御ちそう様をしていました。大人はどうしても〇〇でなければならない、と考えを押し付けてしまいがちです。子どもの相手の思いに気づく心の感度は素晴らしいと改めて感じさせられました。

先日コロナ禍で中止が続いていたクラス懇談会を久々に開くことが出来ました。お子さんの良いところ、自分に似ているなど思うところは、というテーマで話を始めると、良い子で自分を出せていないと心配していたが、反抗できるようになってきて良かった。頑張っているけれど、できないと悔しくて泣いてしまう。社交的で凄い。近所の人にあいさつできる。ヒラメキや想像力がすごい。しみじみ優しいことを言ってくれる。明るくポジティブ。人が好き。自分の中で考えられるようになってきた。ママのこと好きと言ってくれる。等々それぞれのお子さんの顔が浮かぶ素敵なエピソードや言葉が聞かれました。

ある本に、人の心に「ありがとう」と自然に感謝の思いが溢れ出てくる為には、自分の為に、どれほどの人々が愛情や親切やその労苦が注がれているかを知らなければ感謝の思いは出てこないと書かれていました。本当にそうです。懇談会に参加されたお母さん方の言葉には、「生まれてきてくれて、ありがとう」「家族の中に居てくれてありがとう」という子どもへの感謝の気持と愛情がたくさん詰まっていると感じました。

8月は日本人にとって特に平和への願いを強く感じる時です。「つながって生きる」子どもたちと共に、今の暮らしがある喜びと感謝の気持を平和への祈りに繋げていけたらと思っています。

(主任 鹿糠 正美)